



**めざす子ども像** 「かしこく」 様々なことに興味・関心を持ち、自ら学び、考え、正しく判断し行動できる子  
「心豊かに」 自分を大切にするとともに、友だちなど自分以外の人も大切に思い、つながりあって行動する子  
「たくましく」 健康や体力の向上維持に努め、めあてに向かって粘り強くやりぬく子

**めざす学校像** 子どもが喜んで通う学校、子どもがつながりあって活動する学校、子どもに確かな学力が身につく学校

ホームページ <http://www.ise-mie.ed.jp/~akeno-e/>

編集・発行 校長 中村幸博

## 交通安全教室、開催！

7/1(金)、交通安全教室を2限(低学年)・3限(高学年)で開催をしました。毎年6月半ばに行っているものですが、今年度は伊勢警察署との調整がうまくいかず、この時期になりました。

当日は、伊勢警察署より3名、市交通政策課より1名の方に来ていただき、

○自転車の正しい乗り方やヘルメットの着用

○横断歩道でのマナー 低学年での交通安全教室のようす 右1年生、中央2年生、左端3年生(上)などを、ていねいに、かつ適切に教えていただきました。低学年の教室では、「自転車は車両、車と同じ」ことや「飛び出して、自動車と衝突したときに、ヘルメットをかぶっている場合とかぶっていない場合のダメージ」を左の写真のように、模型を使って説明してくださいました。アンパンマンやバイキンマンの人形を使っての説明に、1～3年生の子どもたちからは笑い声やうなずくしぐさがたくさん見受けられました。

低学年の教室で、私が「自転車に乗る際にヘルメットをかぶ

挙げました。うれしい限りでした。『自分の命は自分で守る』大切な行動です。もちろん、自転車に乗るときも歩くときも、無茶な行動をしないことがそれにつながると思います。

警察署指導員さんの話を聴く1年生(左)

夏休み前、ご家庭でぜひ、「自分で考えて行動する」ことを、折にふれご指導下さい。



## 小俣中学校区青少年健全育成

### 協議会総会開催！

7/2(土)に小俣中学校区青少年健全育成協議会の総会が改善センターの研修室で行われました。この協議会は、小俣中校区のPTAや幼稚園・保育園、小中学校とさまざまな団体とをつなげ、小俣町の子どもたちの安心・安全や健やかな成長を支援するものです。具体的には、あいさつ運動、危険箇所の確認と標示設置、夏と冬の標語・ポスター活動です。大きな目で子どもたちを観ていただいています。

総会でのようす、右から2人目林会長(右)



# 4年生、光に学ぶ！

4年生の6月の理科は『光の働き』が目標です。6/29(水)30(木)の2日間、京セラ(株)から2名の講師先生に来ていただき、「太陽光、光電池の力・すばらしさ」を学ぶ授業をしていただきました。

この授業は、昨年度も実施され、好評だったため、今年度の4年生でも実施をお願いし、今回京セラより2~3名の方に講師で来ていただきました。

2時間続きの学びで、最初の1時間は「光電気の重要性」「どうしたら光の電気エネルギーを強くできるか、効果的に使えるか」を学び考える授業で、次の1時間は、京セラの方が持ってきていただいた、強力な光と2種類のパネルを使い、動くおもちゃを動かしてみる、というものです。

4C、4A、4Bの順に二日間に渡り行われました。子どもたちはとても楽しんで学習に取り組んでいました。

4Bの授業1時間目のようす(右上2枚)  
大きな照明を使い模型を動かす4C(右2枚)



講師の方にアドバイスをもらい模型を動かす4C(上)



# 1年生、を・へ・は！



1年生は、ひらがなの学習がすべて終了し、先半月ばより文章を書く、つづることを始めています。すごいですね、子どもたちの成長は。

特に、「お・を」「へ・え」「は・わ」や「っ」などを自分で区別して書く、今の学習がこれからの学習の基礎になっていきます。

算数は、これから『10より大きな数』を学習しはじめます。一歩進んだ学習になりますね。

夏休みにしっかりと復習もして行ってほしいですね。

書写(国語)の時間に「を・か」を書く1B(上)

# PTA再生資源回収、お礼！

7/3(日)早朝より、保護者のみなさん、再生資源回収にご協力いただき、ほんとうにありがとうございました。気温が早々と30℃を超える中、5・6年生を中心に子どもたちも例年より多く参加協力をしてくれた感じがしました。親子で参加をしていただいたところ、子どもだけが参加をしてくれたご家庭、どうか子どもたちのがんばりをほめてあげてください。よろしくお願いいたします。回収量や金額等は、後日お知らせいたします。

学校で新聞の積み込みをする2・4年生(下左)湯田公民館で段ボールを片づける6年生(写真下中)



明野運輸前でパッカー一車に積み込む保護者の方々(左)